

## 中国マクロ経済政策に関する調査研究

### (報告書の概要)

2008年上半期まで2桁の経済成長を続けてきた中国経済も、下半期には世界金融危機の影響を受け、輸出産業を中心に急速な減速を見せたが、同年11月に世界に先駆けて実施した大規模な景気刺激策の効果が現れはじめている。中国政府は、これまでの労働集約型製品を中心とした輸出に支えられてきた外需依存型の経済発展パターンを内需主導型に転換し、景気回復の重点を国内市場に求めるとともに、経済発展の質的向上を目指している。中国の経済指標は一部で改善の動きがみられるものの、依然として厳しい経済運営を迫られている。しかし、巨大な潜在力を有する中国国内市場に対する世界各国の期待も大きく、今後の中国の経済動向への関心はますます高まっている。こうした背景の下、本調査研究は、中国経済の現状を把握し、その中から中国経済が抱える課題を抽出するとともに、中国マクロ経済政策の文献調査、並びに現地でのヒアリング調査を通じて、今後予想される中国経済の現状と展望を探った。

### (報告書の主要構成)

- (1) 中国経済の現状と課題
  - ①中国経済の現状と見通し
  - ②2009年の日中経済
- (2) 中国のマクロ経済政策
  - ①産業構造の最適化に向けた施策—第12次五カ年計画の見通し
  - ②国際競争力、生産性向上に向けた施策分析—国有企業等の改革促進
  - ③輸出構造最適化に向けた施策
  - ④外資導入と対外進出
  - ⑤企業再編とM&A政策—独禁法施行に伴う影響
  - ⑥金融、為替政策—金融リスクへの対応
  - ⑦不動産、株価などの資産バブルの現状と政策動向
  - ⑧地域政策の新しい方向性
- (3) 外資政策と日系企業動向に関する現地調査報告
  - ①北京
  - ②華南地域及び香港
  - ③中部地域
  - ④華東地域
- (4) 中国のマクロ経済政策の将来展望